

請 願 文 書 表

(平成31年3月12日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第34号 (31. 2. 20) 介護保険の充実を求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>「要支援では介護保険の家事援助が受けられないと言われた」など介護をめぐっては不安の声と切実な要求が広がっている。</p> <p>「介護の社会化」をうたって始められた介護保険制度が、「介護の自己責任化」の方向へ大きくかじを切られたが、国家的詐欺との声さえ聞かれる始末である。3年ごとの見直しのたびに引き上げられる保険料とは逆に、給付はどんどん引き下げられ、到底認めることはできない。</p> <p>第7期事業計画で全面展開される地域支援事業では、従来のサービスが継続して利用できるのか、費用負担はどうなるのかなど、特に一人暮らしの高齢者は、ますます不安を増大させている。また、福祉用具利用が介護保険適用対象から除外される方向さえそ上にのぼっている。</p> <p>度重なる介護保険制度の改悪により、家族介護や老老介護者の中から、介護虐待・介護殺人といった悲惨な事態さえ引き起こされている。</p> <p>高齢者及び住民が、必要な時に必要な介護が受けられる制度として介護保険制度を利用できることを目指し、介護保険制度の充実を図るよう以下のとおり請願する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 要支援1・2の訪問・通所介護を保険給付の対象に戻し、要介護1・2の生活援助を保険給付から外さないこと。 2. 利用者負担を軽減すること。 3. 介護保険料を引き下げること。そして年金からの天引きをやめること。
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市北区 全日本年金者組合兵庫県本部 神戸支部協議会 議長 古 谷 太 郎</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>(代表) 朝 倉 えつ子 あわはら 富夫</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>福祉環境委員会</p>